

(平成30年5月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	5月の青果物は、冬季の低温により品質低下や生育が遅れた品目があったため、入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は前年同月並みであった。 6月は、賀茂なすや万願寺とうがらし等の近郷の果菜類や、青梅、桜桃、すいか等の入荷が増え、ゴーヤや冬瓜等の瓜類、ハウスみかんや桃、デラウェアの入荷が始まる。
野 菜	野菜の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は、長だいこんの入荷量減少が影響し、前年同月比で4%下回り、単価は加工及び量販の需要が低かったため、5%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は前年同月並みであった。 果菜類の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は前年同月並みであった。 土物類の入荷量は、たまねぎの入荷量減少が影響し、前年同月比で17%下回り、単価はばれいしょが前年同月を大幅に下回ったため、前年同月比で11%下回った。
果 実	果実の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は、冬季の低温による品質低下のため前年同月比で4%下回り、単価は秀品比率が低かったため前年同月比で10%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は前年同月比で22%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は19%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で15%上回り、単価は13%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎，鹿児島，千葉を中心に入荷された。気温上昇により品質が低下したため，入荷量は前年同月比で7％下回り，単価は加工及び量販の需要が低かったため9％下回った。
西洋にんじん	徳島を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で4％上回り，単価は16％下回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城を中心に入荷された。生育状況が悪く不安定な入荷となったため，入荷量は前年同月比で14％下回り，単価は加工及び量販の需要が低かったため9％下回った。
キャベツ	兵庫，愛知，茨城，九州，京都を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は21％下回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で3％下回り，単価は前年同月並みであった。
レタス	長野，兵庫を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で8％下回り，単価は4％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎，高知，福岡，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は9％上回った。
なす	岡山，高知，熊本，福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で5％上回り，単価は5％下回った。
とまと	熊本，福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は4％下回った。

ピーマン 【土物類】 ばれいしょ (マークイン含む) たまねぎ 【その他野菜】 生しいたけ	宮崎，高知，茨城を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で11%上回り，単価は14%下回った。 長崎を中心に関西，鹿児島から入荷された。生育が遅れたため，入荷量は前年同月比で10%下回り，単価は量販の需要が低かったため25%下回った。 兵庫を中心に関西，佐賀から入荷された。冬季の低温により生育が遅れたことが影響し，入荷量は前年同月比で26%下回り，単価は小玉比率が高かったため9%下回った。 北海道，和歌山，岡山を中心に関西から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は8%下回った。
---	--

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	福岡，熊本，愛媛から入荷された。冬季の低温による品質低下のため，入荷量は前年同月比で５％下回り，単価は秀品比率が低かったため７％下回った。
富士 （サン富士含む）	青森から入荷された。入荷量は前年同月比で３３％下回り，単価は２８％上回った。
いちご	福岡，大分，熊本，佐賀，長崎などから入荷された。入荷量は前年同月比で１８％下回り，単価は１９％上回った。
アールスメロン	静岡，高知，熊本から入荷された。入荷量は前年同月比で５％上回り，単価は１４％下回った。
アンデスメロン	熊本から入荷された。入荷量は前年同月比で１９％上回り，単価は１２％下回った。
大玉すいか	熊本，長崎から入荷された。入荷量は前年同月比で５４％上回り，単価は３％下回った。